

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		学童デイサービスつば高場				
		公表日				
		R8年 3月 29日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○		人数や活動によっては狭さを感じることもある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		利用定員や子どもの状態に応じて、言語聴覚士や保育士を含む職員を適切に配置し、専門性を活かした支援体制を確保している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		肢体不自由の利用者を受けていない為、バリアフリーは行っていない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		生活空間を清潔に保ち、床・机・トイレ等の衛生管理を継続して実施している。換気や消毒も行い、子どもの活動に合わせた心地よい	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもの状況に応じて個別の部屋やスペースを利用できるよう環境を整え、安心して過ごせる選択肢を確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		週一度の会議内で設けている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		モニタリング、送迎時にあった意向等から改善に向けて取り組んでいる	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員の意見を共有する場を継続的に設け、得られた内容を業務改善へ反映することで、より良い支援体制の構築につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		内部評価は行っているが、外部評価は行っていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月会社・事業間で行っている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを子どもの状況に応じて適切に作成し、内容を分かりやすく公表する。保護者や関係者が確認しやすい体制を整えている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		各児童の状況を丁寧にアセスメントし、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に把握した上で、適切な放課後等デイサービス計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者だけでなく、支援に関わる職員が共通理解を持ち、子どもの最善の利益を踏まえて放課後等デイサービス計画を協議し作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		放課後等デイサービス計画を職員間で共有し、共通理解のもと計画に沿った支援を継続して実施し、子どもの状況に応じた一貫した支援体制を確保している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		モニタリング時や送迎時に情報共有し計画を立てている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインの各支援領域（本人・家族・移行・地域連携）を踏まえ、子どもに必要な項目を適切に設定し、具体的な支援内容を計画内に明確化している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		週一度の会議内で設けている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎月チームでプログラムを立案している	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適切に組み合わせ、計画に反映したうえで支援を行い、必要に応じて内容を調整しながら柔軟に対応している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		1週間単位で役割分担を行い、当日担当者から支援内容確認を全体へ共有している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		緊急時以外は翌日朝礼にて打ち合わせと振り返りを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援内容を記録し、職員間で共有しながら検証・改善に活かす体制を整えており、継続的に支援の質向上につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、子どもの様子を丁寧に見守りながら、必要に応じて計画を優しく見直し、より良い支援につながるよう心がけている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		ガイドラインの4つの基本活動を組み合わせ、子どもの状況に応じて多面的な支援を展開し、計画に沿って継続的に実施できる体制を整えている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子どもが活動を自分で選べるよう工夫を行い、自己決定の機会を確保することで、主体性や選択する力を育む支援を継続して実施している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管及び管理者、専門職が参画している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		地域の保健・医療・福祉・教育機関との連携体制が十分に整っておらず、情報共有や支援調整に課題があるため、今後の連携強化が求められている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校からのプリントや必要に応じて児童の担任や保護者と連絡を取り合っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		相談員を通して情報共有と相互理解に努めている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		現在、学校に在籍する子ばかりの為まだ行っていないが、卒業生が出る場合は行いたいと思う
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		定期開催している研修を受けている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		学童利用の子や職員のお子様と活動をしている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		研修などへ参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		定期的に話し合いを持っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		適宜支援を行っている
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規程や支援プログラム、利用者負担について丁寧に説明し、保護者が安心して理解できるよう、必要な情報を分かりやすく伝える体制を整えている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子どもと保護者の意向を丁寧に確認し、意思の尊重と最善の利益を踏まえて計画作成に反映できるよう、意向確認の機会を適切に設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		モニタリング時に計画を見ながら支援内容をゆっくり説明し、保護者の気持ちに寄り添いながら同意をいただき、安心して支援を進められるよう心がけている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時に不安や質問があればいつでも相談を受けることを伝えている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		現在はまだ出来ていないが、今年から年に一回程度実施予定
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		真摯に受け止め早期解決に向け誠意をもって対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		Instagramで上げている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		研修の実施をしている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		本人に伝わりやすいように話をしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		ハロウィン等大家さんとの関りがあり、祭りなどに参加	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		職員には研修を通して周知している 保護者には十分でないかもしれないので改善を考える
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		児童を含め職員も定期的に行っているが、保護者向けに出来ていない	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に服薬状況や予防接種、てんかん発作などの健康面を丁寧に確認し、必要な情報を把握したうえで安心して支援につなげられるよう配慮している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーのある子どもについて、保護者からの情報提供をもとに状況を把握し、必要な配慮や対応を行いながら、安全に過ごせるよう支援している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を整え、必要な研修や訓練を重ねることで安全管理に配慮した環境を保ち、その体制の中で安心して支援を行えるよう取り組んでいる。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画の内容を保護者へ十分に伝えられておらず、現在は口頭での説明が中心となっているため、今後は書面配布など周知方法の改善が求められている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの内容を事業所内で共有し、職員間で振り返りを行いながら再発防止に向けた対策を検討し、安全な支援につなげている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年2回の研修を実施している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束が必要となる状況を組織で整理し、子どもや保護者へ事前に丁寧に説明して理解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に適切に記載している。	